

学校関係者評価委員会報告書

学校法人瓶井学園
日本コンピュータ専門学校
学校長 瓶井 修

学校法人瓶井学園日本コンピュータ専門学校は、平成 25 年度学校自己点検・自己評価結果をふまえ、学校関係者評価委員会を実施しました。下記にその内容を報告致します。

1. 開催日時

平成 26 年 5 月 31 日（土） 13 時 30 分から 15 時 00 分

2. 学校関係者評価委員

久下 直彦	株式会社アイ・ピー・エス 取締役執行役員
蔵敷 重壽	元大阪市立都島工業高等学校 校長、 元大阪市教育委員会事務局 高等学校教育課長
建山 和徳	ウェブレイス 代表
増南 正	有限会社スタジオマックス 代表取締役
吉村 昌晃	合同会社翔エンターテイメント 代表社員
瓶井 修	日本コンピュータ専門学校 学校長
西坂 公典	日本コンピュータ専門学校 教務部長心得

3. 議事報告

項目	評価・意見
(1)教育理念・目標	「学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 今後は、定期的に保護者懇親会や相談会を開催し、保護者との話し合いの場を作る努力を要することの方針が決定した。
(2)学校運営	「教育活動等に関する情報公開が適切になされているか」については、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 適宜見直す必要があるため、今後も学校関係者評価委員会において、公開項目の検討を重ねるとの方針が決定した。 「情報システム化等による業務の効率化が図られているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。 証明書発行、卒業台帳の作成、卒業証書の発行等の業務のデータ化が整

	<p>備され効率化が図られているが、入学から卒業までの一元管理にまだ改善の余地がありデータの共有化をさらに進めていく。</p>
(3)教育活動	<p>「キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか」、「関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか」、「関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか」の3点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>専門の業界ニーズに合わせて可能な範囲内で工夫や改善の取り組みを進めていくとの方針が決定した。</p> <p>「職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会を実施し、意見を可能な範囲内で取り入れていく方針を決定した。</p> <p>「人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか」、「関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力・育成など資質向上のための取組が行われているか」、「職員の能力開発のための研修等が行われているか」の3点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>十分なレベルの教員を確保できているが、外部研修を受講する機会を増やし、より一層のスキルアップを目指すとの方針が決定した。</p>
(4)学修成果	<p>「資格取得率の向上が図られているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>学生・保護者の面談を充実させ、目標設定、将来像の再確認を行い、就学・資格取得意欲の向上を促す取り組みを行うとの方針が決定した。</p> <p>「卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか」、「卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか」の2点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>卒業生が所属する同窓会を充実させ、卒業生との交流方法を検討すべきとの方針が決定した。</p>
(5)学生支援	<p>「学生の健康管理を担う組織体制はあるか」、「学生への生活環境への支援は行われているか」、「保護者と適切に連携しているか」の3点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>今年度から定期的に保護者懇談会や相談会を行い、保護者との連携の場</p>

	<p>を作っていくとの方針が決定した。</p>
(6)教育環境	<p>「学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか」、「防災に対する体制は整備されているか」の2点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>平成26年度よりHD対応のバーチャル映像システム、MAシステム、ノンリニア編集システム、3Dプリンター、モーションキャプチャーシステム、ハイスペックWindowsパソコンを導入し、業界ニーズに合うカリキュラム編成を行い実践的な実習を行っていくとの方針が決定した。</p> <p>訓練の実施回数が少ないので回数を増やしていくとの方針が決定した。</p>
(7)学生の受け入れ募集	<p>特に問題なし</p>
(8)財務	<p>特に問題なし</p>
(9)法令の遵守	<p>「自己評価の実施と問題点の改善を行っているか」、「自己評価結果を公開しているか」の2点について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>平成25年度は、ホームページにて「自己点検・自己評価報告書」、「学校関係者評価委員会報告書」の情報公開を行った。</p>
(10)社会貢献・地域貢献	<p>特に問題なし</p>
(11)国際交流	<p>「学習成果が国内外で評価される取組を行っているか」について、ほぼ適切との自己点検・自己評価結果は妥当であるとの意見が一致した。</p> <p>学修成果が国内外に伝わるよう、ホームページを充実させ、情報発信を強化するとの方針が決定した。</p>